

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 **新** 農産物輸出戦略推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111 (内 2896)

E-mail : c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 9,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,000 |
| 決定額 | 9,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,000 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・人口減少により国内市場が減少していく中、県では、平成 21 年度から「観光・食・モノ」を三位一体で PR する「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を展開してきた。
- ・「食」については、飛騨牛・鮎・柿を重点品目とし、成長著しいアジアや情報発信力の高い欧米でのトップセールスなどを通じて、県産農畜水産物のブランド力強化、海外販路の開拓を進めてきた。
- ・コロナ禍においても、こうした流れを継続・発展されるためには、TPP11 や日欧 EPA、日米貿易協定の発効を追い風に、県の輸出戦略を着実に実施する必要がある。

(2) 事業内容

① 輸出戦略推進事務費

- ・輸出戦略の推進に必要な県の推進事務経費 (市場調査委託費、輸出関係者や生産者との調整旅費、PR 資材等作成費など)

② 岐阜県農林水産物輸出促進協議会負担金

- ・JA 全農岐阜や岐阜県漁業協同組合連合会、岐阜県食品産業協議会などで組織する「岐阜県農林水産物輸出促進協議会」へ参加し、官民一体での輸出対策を促進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

輸出への取り組みは、県の重要政策であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|-------|----------------------|
| 報償費 | 480 | 講師謝金 |
| 旅費 | 1,690 | 国内旅費（輸出関係者、生産者等との調整） |
| 消耗品費 | 1,500 | PR 資材等購入費等 |
| 印刷製本費 | 600 | 中国語、英語販促物作成 |
| 役務費 | 400 | 翻訳、資材輸送 |
| 委託料 | 300 | 市場調査 |
| 使用料 | 30 | レンタカー使用料、ETC 使用料 |
| 負担金 | 4,000 | 岐阜県農林水産物輸出促進協議会への負担金 |
| 合計 | 9,000 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019年3月策定）
3（1）④ 「ぎふブランド」づくり（情報発信・販路拡大）
- ・新たなぎふ農業・農村基本計画（2021年3月策定予定）
（3）ぎふ農畜水産物のブランド展開 ①輸出拡大の強化

(2) 国・他県の状況

国では、農林水産物・食品の輸出額5兆円目標の実現に向けて、農林水産物・食品の輸出促進を担う司令塔組織を農林水産省に創設し、国全体で輸出力強化に向けた取り組みが加速化している。

また、福井県実施の都道府県を対象とした「輸出取組状況調査」によると30地方自治体で、商談会の開催等輸出促進のための各種取組が実施されている。

(3) 後年度の財政負担

県農産物の輸出対策の重要性は年々増しており、継続的に施策を推進する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

| |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 岐阜県産農産物のトップブランドである飛騨牛、鮎、柿について、輸出を促進しブランド価値の向上を図る。
 また、市場調査を実施し、輸出量及び新規品目の拡大を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | | 現在値 | 目標 | 達成率 |
|-------------------|--------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|-----------|
| 飛騨牛の年間輸出量 (kg) | 330 (H20) | 1,071 (H22) | 23,484 (H27) | 51,680 (R1) | 100,000 (R7) | % 51.9 |
| 鮎の年間輸出量 (kg) | 15 (H25) | 70 (H26) | 420 (H27) | 1,314 (R1) | 10,000 (R7) | % 13.1 |
| 富有柿の年間輸出量 (t) | 11 (H20) | 10 (H22) | 47 (H27) | 51.9 (R1) | 100 (R7) | % 51.9 |

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い | |
| (評価) ○ | 国内市場の縮小が見込まれる中、岐阜県産農産物の輸出促進及びブランド価値向上のため、必要性は高い。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) ○ | 飛騨牛、鮎、柿の輸出量は増えており、事業の成果は上がっている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある | |
| (評価) ○ | 岐阜県農林水産物輸出促進協議会との連携により、事業実施の効率化が図れている。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 海外市場を取り巻く環境や輸出先のニーズは常に変化しているため、状況に即してスピーディーに対応していく必要がある。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国内市場の縮小が見込まれる中、海外市場を取り巻く環境や輸出先のニーズを睨みつつ、岐阜県産農産物の輸出促進及びブランド価値向上に継続して取り組む必要がある。 |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | 【〇〇課】 |
| 組み合わせる理由や期待する効果 など | |